

## 指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名		山梨県立武田の杜保健休養林									
指定管理者		(財)山梨県林業公社									
指定期間		平成18年4月1日～平成21年3月31日									
施設の使命・役割(運営目標)		展示や資料提供等を通じて、森林・林業の役割、鳥獣や植物についての知識の習得、自然に親しみながら保健休養を図る場を提供すること。 主催事業の実施を通じて、森林・林業の役割、鳥獣や植物についての知識を習得する機会、自然に親しみながら保健休養を図る機会を提供すること。									
指定管理者が行う業務		施設の維持管理業務 施設の運営業務 森林・林業の普及・啓発に関する業務 その他知事が必要と認める業務									
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		計画どおりに維持管理に努めた。実施時期については、利用者の妨げにならないよう配慮した。		事業報告書及び現地確認等により、計画どおりに適切に維持管理業務を執行したことが確認できた。施設が老朽化しているため、通常の清掃以外において見ばえを良くする工夫を期待する。							
運営業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		計画どおり開園時間の延長を行い、利用者に変大好評であった。主催事業についても概ね好評を得たが、今後も内容の見直し、検討を行い、利用者のニーズになるべく応えられる主催事業を展開していきたい。またPR活動を積極的に行った結果、県内外からの問い合わせが増えた。今後も四季を通じたPR活動を行い、利用者の増加に努める。		事業報告書及び現地確認等により、計画どおりに適切に運営業務を執行したことが確認できた。今後も利用者のニーズを十分考慮した上で工夫ある運営事業を実施し、またPR活動についてもさらに力を入れていきたい。							
自主事業の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		計画どおりの水準で、各自主事業を実施することが出来た。キャンプ場における各種サービスについては、好評を博しているため、今後も継続したい。武田の杜でボランティアを行う武田の杜クラブも計画どおり発足させることができ、今後ともクラブ会員と協力して遊歩道の整備等を行っていきたい。		キャンプ場におけるサービスの充実、鳥獣保護ボランティアへの積極的な取り組み、学校施設に対する依頼事業の実施等、当施設の運営目的に沿った自主事業を実施していることが確認できた。今後も利用者に喜ばれる自主事業を展開していきたい。							
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声							
	評価	満足91% 普通7% 不満2% 満足度評価値=91/(91+2)=98%		長い遊歩道なのに、草刈等整備されていて、とても歩きやすかった。 夜景が素晴らしい。一年中見られるようにしてほしい。 森林学習展示館の中はとても暑く、空調設備が欲しいと思った。							
利用者数		H18年度実績(人)		H19年度計画(人)							
		73,930		74,800							
利用実績		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容							
		利用者数は微増であったが目標は達成できた。今後も更なる利用者の増加を目指し、努力を惜みず管理運営に努めたい。		満足度評価値は98%と高く、アンケート結果でも、ことさら評価の悪いところはない。全般的には評価は高いと思われる。今後も現在の評価結果に安住せず、さらなる管理運営業務の質の向上を期待する。一部、空調設備に対する苦情があったが、今後県と指定管理者とで対策を検討する。							
収支の状況		科目		H19年度計画額(円)		H19年度実績額(円)		差額(計画額-実績額)(円)		H20年度計画額(円)	
		収入	利用料金収入	266,000	357,390	-91,390	304,000				
			指定管理料	43,605,000	43,605,000	0	43,783,000				
			その他収入	141,000	312,602	-171,602	133,000				
		計	44,012,000	44,274,992	-262,992	44,220,000					
		支出	43,781,000	43,475,625	305,375	44,220,000					
		差し引き(収入-支出)	231,000	799,367		0					
評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価							
		計画に対し、収入は増加し、支出は人件費等のコスト縮減により低く抑えることが出来た。支出を削減した経費で、施設の整備を充実させることが出来た。今後は物品販売など魅力のあるものを考慮し、利用者の満足とともに収入増加を目指したい。		人件費等の支出を削減した経費で施設の整備をするなど、支出方法を工夫したことについては、高く評価できる。今後はキャンプサイトなどの利用料金の見直しや、販売物品のさらなる工夫を検討していきたい。							
施設の運営目標の達成状況		施設の運営目標である、利用者数および主催事業参加者数において、どちらも目標を達成することが出来た。桜満開時及びお盆時の開園時間の延長も定着しつつあること、またそれらの時期には天候に恵まれたことが目標達成の主な要因と考えられる。									
総合的な評価及び改善事項		全ての項目において、県の求める水準以上の管理運営が行われていることが確認できた。今後は、本施設の基本方針である「県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るとともに、自然保護の思想を普及啓発する」施設であることを念頭に置き、より利用者に喜ばれる施設を目指して、管理運営に努めていきたい。									